



Daito Chuo Osaka Japan

第2660地区 大東中央ロータリークラブ

*事務所

〒574-0046
大東市赤井1-2-10-4F
TEL : 072-872-6349
FAX : 072-872-6552
E-mail : dc-rc@eagle.ocn.ne.jp
ホームページ http://www.dcrc31477.com/



*例会

毎週水曜日 18:30~19:30
大東市立市民会館
〒574-0076 大東市曙町4-6
TEL : 072-871-0001
FAX : 072-871-0004

■会長:池田文治 ■幹事:古川真照 ■会報委員長:庵谷和宏



ROTARY
SERVING
HUMANITY

RI会長 ジョン・ジャーム

2016~2017年度
国際ロータリー・テーマ
人類に奉仕するロータリー

四つのテスト

- 言行はこれに照らしてから
1. 真実かどうか
 2. みんなに公平か
 3. 好意と友情を深めるか
 4. みんなのためになるかどうか

第 969 回 例会	平成 29 年 5 月 10 日
第 970 回 例会	平成 29 年 5 月 17 日

開会点鐘 : 18:30
 ロータリーソング : 「奉仕の理想」
 来客紹介 : 親睦活動委員長
 会長の時間 : 会長
 諸報告 : 幹事、各委員長、出席報告、ニコニコ箱
 卓話 : 「青少年奉仕月間に因んで」 講師：山本 哲史 氏
 閉会点鐘 : 19:30 担当：青少年奉仕大東委員長
 クラブフォーラム : 青少年奉仕委員会

来週のお知らせ

卓話「 」有田会員・新旧クラブ協議会

5 月 10 日の例会の記録

出席報告

会員数 : 27 名
 出席者数 : 13 名
 欠席者数 : 8 名
 出席規定免除者数 : 6 名
 出席率 : 61.90 %
 4月12日 修正出席率 : 86.95 %

ニコニコ箱

移動例会の為ニコニコ箱はありません。

当日計 ¥0
 今期累計額 ¥903,270

↓
91.30 %

お客様
 若狭令子 様(岩本会員ご友人)
 米山奨学生 : ファムティートウン 様



「野の岬」である野崎をどちらが占領するかが、戦いの帰趨を決める重要な場所であったそうです。

そして、飯盛山には、「飯盛城」がありました。四條畷の合戦から212年後、三好長慶が高槻の芥川山城から飯盛城に居城を移し、首都である京都を押さえ、畿内（すなわち当時の天下）を治めていたそうです。それは、1718頃にオランダで発行されたシャトランの「歴史地図帳」という書物に、日本の統治者の遍歴が説明されており、内裏（天皇家）・公方（足利将軍家）に続き、「三好殿」とあり「信長」「羽柴太閤」そして「秀頼」「徳川家康」と記載されており、西洋人のなかでの三好長慶は天下人だったのであります。大東・四條畷、行政は違いますが、私たちは、同じ歴史を共有する地域であります。

今、大東市は市制60周年を迎えています。その中で、新しい取組として、大東・四條畷両市またがる飯盛山に有った三好長慶が居城とし天下を治めた、飯盛城跡を大東・四條畷、両市が協力して、国史跡指定を目指しているとのこと。私達、3ロータリークラブも何らかの協力が出来れば、と思っております。

最後になりますが、本年、ロータリーの年度は替わりますが、12月に大東ロータリークラブは創立50周年を迎えることとなります。橋本新会長・藤本実行委員長のもと、準備を進めております。四條畷RC・大東中央RC皆様方のご理解とご協力を、よろしくお願いいたしまして、会長の時間とします。ありがとうございました。

●)) 前々回 (4月18日) の卓話 (●

ガバナー補佐・ガバナー補佐エレクト 訪問



国際ローター第2660地区 I M第3組
ガバナー補佐 富永 良太 氏



国際ローター第2660地区 I M第3組
ガバナー補佐エレクト 宮田 明 氏



3月25日に開催しました3組ロータリーデイをくずはRCがホストを担当し、会長をはじめ、多くの会員の方々にご参加いただき、ありがとうございました。

皆様のおかげで、何とか、無事に開催する事が出来ました。

2017年～2018年 RI、並びに 地区の方針などを、ご報告します。

次年度 RI 会長は、オーストラリアより出ておられます。

イアン・ライズリー会長で、職業は 公認会計士 と聞いております。

2017年～2018年 RIの会長のテーマは、

“ROTARY : MAKING A DIFFERENCE”

日本語訳 **ロータリー : 変化をもたらす** であります。

趣旨は、

ロータリアン・ロータリークラブ・地区は、

その特性を活かして、積極的に、ロータリーの奉仕活動に参加することがその地域社会に、よい変化をもたらし続けるという内容です。

これを受けて、次年度片山ガバナーエレクトは

第2660地区 2017～2018年度 地区 スローガンを

“個性を生かし、参加しよう” といたしました。

その「個性」とは、

クラブの特性、地域の特性を汲み取り、そこでの奉仕活動を行う事がロータリーの理解に繋がり、又、その親睦が図られ、仲間が増える事に繋がるという考えであります。

次に、2017年～2018年度の地区の具体的な目標としては、

- (1) 基本理念と奉仕活動の実践
- (2) 戦略計画（将来構想）の推進
- (3) 米山記念奨学会 財団設立 50周年
- (4) ポリオ撲滅
- (5) 公共イメージ向上

基本理念と奉仕活動の実践 とは

ロータリーの基本理念については、変えてはならないもの
奉仕活動については、進化すべきものと考えております

ロータリーは、「理念」と「奉仕活動」のバランスのとれた
両立であると考え、この二つがバランスのとれた両立をもって、
クラブ運営を目指してほしいと考えております。



「奉仕活動」は、ロータリアン各個人の異なる特性に応じた奉仕活動の参加にあり、クラブの特性、地域の特性にあった奉仕を進めてほしいというものです。

奉仕活動の進化とは

クラブの単独事業だけでなく、共通の価値観をもつ人々や団体との共同の奉仕活動も、考えては、どうかと言っているもので、例えば、ロータリー学友、ローターアクト、クラブ間
地区間、国際間の共同活動など
地域の共通の価値観を持つ団体、企業、個人との共同活動など

(2) 戦略計画（将来構想）の推進 とは

魅力のある・元気のある・個性のあるクラブとして、有り続ける為には、クラブとして、どのようなクラブになる事が、ふさわしいのかその課題を把握し、課題を分析し、中期計画（3～5年）を立案し、その為の実践を進めて頂きたいというものです。

2016年の規定審議会において、「クラブの目的・目標を明確化する」と決定しております

地区においても、継続性が重要な委員会の委員長の任期を3年といたします。

各クラブでのその名称は違っても、このような委員会を設置して頂き又、設置されている委員会は、是非とも、目的、目標を明確に打ち出して頂きたいと考えている処であります。

米山につきましては、

財団創立50周年を迎え、記念事業が発表される予定であり、それへの参加のお願い

ポリオ撲滅 については、

現在 発症国は、パキスタン、アフガニスタン、ナイジェリアの3カ国になり、撲滅に向けて、引き続き寄付支援のお願い

公共イメージ向上 については

地区の広報委員会 名称を 広報・公共イメージ向上委員会と変更します
内向きでなく、外向きの姿勢を強調したいと考えております。



① マイロータリー登録率 50% 目標としています。
 世界は、もちろん、RIにおいても、IT化が、すごいスピードで進化している事 並びに、ロータリーの情報の受発信をオンライン化させていこうとしているものであります。

本年 7月15日 「公共イメージセミナー」を開催致します。
 マイロータリーについての周知、発信、活用などを各クラブに支援指導する内容の計画を立てております。

② クラブの奉仕活動などを外部のメディアへのアプローチをする事で、ロータリーの広報や地域社会でのロータリーの「公共イメージ」を向上させる為に、地区の委員会は、その支援をする為の具体的な内容を検討しており、後日、発表される予定であります。

会員増強については、各クラブ 純増2名を目標と考えておりますので、よろしくお願いします。

年次寄付の年間目標につきましては、

- ① ロータリー財団年次寄付 1名あたり 150ドル
- ② ポリオ撲滅 1名あたり 50ドル
- ③ ベネファクター 各クラブ 1名
- ④ 米山奨学寄付 1名あたり 3万円

次年度の地区の方針は、ロータリーの「持続可能性」であります。

「多様性、柔軟性、自主性、継続性」を理解して頂き、中期計画の立案、実行、奉仕活動の充実、クラブにあった、地域にあった特性や、個性のあるロータリークラブを目指して頂きたいと考えている事です。
 以上で、次年度片山年度のRI 並びに 地区の概略について、報告させていただきました。





●)) 先週 (5月10日) の卓話 (●



「新茶の季節『薫風』」

青田 朝代 会員



本日はご多用中 ご参加ありがとうございます。

新茶薫る良き季節に、宇治・丸久小山園 (まるきゅうこやまえん) でのお茶摘み体験・見学はいかがでしたでしょうか? この度は、休日の所を大東中央 RC の為に本社を開けてくださり、丸久小山園の代表取締役社長 小山元治様自ら丸久小山園の歴史やお茶の知識に関してご講説いただきました。

この頃になると、五月に相応しい言葉として『薫風自南来 (くんぷうじなんらい)』という語句を耳にする機会があらわれるかと存じます。今ではお茶席などでこの語句だけが取り上げられますが、多くの禅語がそうであるようにこの語句も漢詩の中の一節で、背景や情景があります。

戯足柳公権連句 たわむれに 柳公権の 連句に足す

西暦800年頃の 唐の文宗 (ぶんそう) 皇帝 (840年没) が、
人は皆炎熱 (えんねつ) に苦しむ
我は夏日 (かじつ) の長き事を愛す

と起承 (きしょう) の句を作ったのを承 (う) けて、詩人である柳公権 (りゅうこうけん) (856年没) が、

薫風自南来 くんぷう みなみより きたる
殿閣生微涼 でんかく びりょうを しょうず

と、転結 (てんけつ) の句を作って一篇の詩といたします。

『世間一般の大多数の人々は夏の日のカンカン照りの厚さを厭いやがるけれども、私はその夏の日が一年中で一番長いのが大好きである』

『暑い暑いといっても、時折り、木立こだちを渡ってそよそよと吹いてくる薫風によって、さしも広い宮中もいっぺんに涼しくなり、その心地よさ、清々す



がすがしきはむしろ夏でないと味わえない』という詩です。

更に200年後、こてに蘇しよく（車へんに式）が次の詩を加えます。皇帝への批判と上流階級への諷刺（ふうし）が込められています。

一為居所移 ひとたび きよのうつすところとなれば
 苦楽永相忘 くらく ながく あいわする
 願言均此施 ねがわくはいわん このほどこしをひとしくし
 清陰分四方 せいいん しほうにわかてよ

『皇帝陛下は生まれながらにして広々とした宮中に住んでおられるので、天下の人々が炎熱の中に苦しんでいるのに気がつかないのです。どうか、もっと天下万民の上に思いを寄せ、「薰風自南来、殿閣微涼を生ず」のような楽しみ、安らぎを人々に分かち与えてこそ、皇帝ではないでしょうか。』

お茶で禅語としてこの語が重用されるのは、上記の背景とは関係はないようです。1163年に没した大慧（だいえ）禅師がこの語を聞いて大悟—迷妄を脱して真理を悟ること—したからと伝えられています。

私たちは何かという得失にこだわり、利害にとらわれ、愛憎にかたより、善悪にこだわり、迷悟（めいご）—迷いと悟り—にとらわれ、凡聖（ぼんしょう）—凡人と聖人—にかたよって、右往左往する毎日です。

しかし、それらの対立的観念を一陣の薰風によって吹き払ってしまえば、こだわりもなく、とらわれもなく、かたよりのない、自由自在なサッパリとした清々しい涼味りょうみを感じることができます。そのカラッとした、一切の垢の抜け切った無心の境涯を「殿閣微涼を生ず」と詠ったのです。

薰風を感じながら、ロータリー活動も取り組んでいけたら、と思います。

5月2日に峠さんのお見舞いに行っていました。

手術は大成功で良かったのですが、左の足の筋を切ってしまい、それと長い入院生活の間筋肉が衰えていることもありただいま毎日リハビリに頑張っていますとの事でした。

あと1、2ヶ月すれば何とか例会にも出られるのではないかと、「早くゴルフがしたい」と言って元気な姿を見せてくださいました。「お見舞いありがとうございました」と皆様によろしくお伝え下さいとの事でした。 幹事 古川 真照

